

港区より感謝状

3月24日、東京都港区麻布地区総合支所にて、富田慎二総合支所長より、本町に感謝状が贈呈されました。これは、港区麻布地区の取組みに貢献があった個人と団体に贈られるものです。

本町と港区の交流は今年で50年を迎えます。そのきっかけは、本町出身の故佐藤克己氏（最上電気㈱初代会長 港区東麻布）が、ふるさとを持たない東京の子どもたちに舟形町の良さを知ってもらいたいとの思いから始まった旧飯倉



富田総合支所長(右)から感謝状を受け取る森町長

小学校との児童交流でした。時は流れ、飯倉小学校は閉校しましたが、その思いは東麻布商店会、東麻布まちづくり協議会、麻布地区総合支所はじめ多くの方に引継がれ、平成20年には港区、舟形町、東麻布商店会、舟形町商工会（現もがみ南部商工会）による「商店街友好都市との交流に関する基本協定」が締結されるなど、交流事業がさらに発展しました。町では、毎年夏に麻布地区サマースクールを受入れているほか、秋には東麻布かかしまつりなどのイベントへの参加、舟形中学校の修学旅行中には港区で町の物産品PR活動を行うなど、港区と舟形町は支合う関係性を築いてきました。感謝状贈呈式当日は、武井雅昭港区長と町長の会談も実現し、さらなる交流の推進に向け互いに協力していくことを確認しました。



*港区と舟形町の交流の歴史はコチラから

スポーツ少年団結団式

4月16日、B&G海洋センターにてスポーツ少年団結団式が2年



舟形町に新たな駐在さんが着任

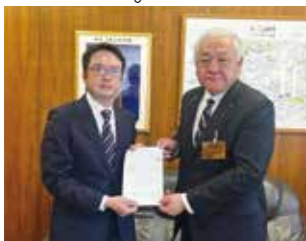
舟形町に新たな駐在さんが着任されました。写真左から須田裕太巡査長、荒木雄士巡査長、鈴木栄一警部補の3名です。



今年も舟形町の安全・安心のため、よろしく願いいたします。

地域おこし協力隊 辞令交付式

舟形町地域おこし協力隊に、仙台市出身の佐藤浩二さんが着任し、辞令交付式が舟形町役場で行われました。最長で3年間の任期となります。



町の情報発信や新しい地域資源の発掘に取組みます。

高校生が企画したマンホールがついに完成!

舟形町の公共下水道と農業集落排水のデザインマンホール蓋に、新しくカラーデザインのマンホール蓋が仲間入りしました。

現在、舟形町にあるマンホール蓋のデザインは、土偶（2種類）、若鮎、轆馬、きじばとの計5種類で、いずれも非カラーの鉄蓋ですが、この度新しく加わったマンホール蓋は、「清流小国川の若鮎」と「縄文の女神」を中央に配置し、両サイドに町の木である「えんじゅの葉」をカラーで描いた色彩や



かなデザインです。

このマンホール蓋のデザインを作成したのは、本町から新庄東高校に通う学生が中心の制作グループです。新たなデザインマンホール蓋は、観光拠点付近に設置されるだけでなく、現在全国で人気となっているマンホールカードに着目し、カード化することで知名度の向上と、観光客の誘致につなげていけるのではないかと考えたものでした。このマンホールが制作されるまでに、制作グループは町のPRを図りたいと森町長にプレゼンテーションを実施し、このたび制作されました。

なお、現在は舟形町役場本庁舎入口に展示しています。



制作グループによる、カラーマンホール制作に当たったプレゼンテーション資料の一部

行政相談員 伊藤宏さん(舟形第4)



総務大臣から町の行政相談員に委嘱されました。任期は2年です。

『うんこ交通安全ドリル』トヨタカラーより母の会へ



交通安全を楽しく学べるドリルが、舟形小学校全児童に贈られました。

舟形中学校入学式



4月8日、入学式が行われました。新入生は31名です。

固定資産評価審査委員 高橋忠昭さん(富田第2)



町の固定資産評価審査委員に委嘱されました。任期は3年です。

『戸沢政盛公物語』寄贈 新庄信用金庫



教育振興のため、全児童・生徒、教職員に寄贈されました。

ほほえみ保育園入園式



4月6日、入園式が行われました。新しく年少児となったのは23名です。